



ユキノシタの群生
(御岳山にて)

清友

No.166

2023年6月
(2023年6月2日発行)

東京清掃労働組合退職者会

〒102-0072 千代田区飯田橋3-9-3 SKプラザ5F

TEL 03 (3237) 9995 FAX 03 (3237) 4541

6月16日に開催する第15回 定期総会に参加してください

ご案内を差上げていますように、第15回定期総会を6月16日(金)に開催します。

運動のあり方を語り尽くそう

昨年6月10日、コロナ禍により行えなかった「対面」総会を3年ぶりに開いてから1年、世界はロシアによるウクライナ侵略が長期化し、米中対立を軸にした分断が一層進行しました。日本では、旧統一教会の広告塔と見なされた安倍元首相が銃撃により殺害され、岸田政権による安倍「国葬」強行、敵基地攻撃能力保有と大軍拡など、「新たな戦前」と言われる状況を呈しました。

これらに対する私たちの運動はどうだったのでしょうか。退職者会会員がなかなか増えないことも含め、不十分性が問われます。どのように運動を進めるか、総会で議論したいと思えます。

定期総会の案内

- 日時 6月16日(金)
午前10時受付開始
午前10時15分開会
- 場所 清掃会館地下ホール
- 議案 2023年度運動方針、会計予算
- 出欠 「参加連絡兼委任状」を提出してください。
※懇親会中止、参加された方に弁当を配ります。

今年も懇親会は取り止め

総会の役割は、運動面だけでなく、会員の懇親の場でもあります。「懇親会」は欠かせない行事ですが、残念ながら、今年も見合わせることになりました。清掃会館での飲食を解禁できないからです。

東京清掃は「コロナは、依然沈静化しておらず、感染症の専門家がリバウンドを警告していること、清掃会館地下の環境を考慮すれば、クラスター

発生の危険性はなくなっていないこと」を危惧しています。市民の生活環境を守る業務集団で形成する東京清掃がクラスターの発生源になることは避けなければなりません。

万障繰り合せ参加ください

「懇親会」は行えませんが、懐かしい顔に会えるのではないかと思います。既に、参加見合わせで連絡した方もやりくりが可能ならば、是非、定期総会に参加いただけるようよろしくお願ひします。

怖々開催した昨年の定期総会会場風景



第5回幹事会

定期総会準備と総会議案、新デザイン行動旗、コロナ後の活動対応、来年初春までの行事実施案等を検討

5月15日に第5回幹事会・専門部会を開催し、①定期総会の準備と総会議案、②コロナの位置付け変更に伴う対応、③新デザイン行動旗の取扱い、④来年初春までの行事実施計画等を検討しました。

総会議長の取扱いを変更

定期総会の時程、役割分担、総会議案を決めました。

「総会議長」の取扱いを変更します。従来、会員に依頼してきましたが、参加会員の立候補がなければ幹事中から選出することにします。事前の打合せが可能など考慮を考慮しました。ちよつと禁じ手みたいですが、規約では「議決権のある総会構成員の中から選出」と定めており、幹事も議決権がありますから、問題はないだろうと考えています。二つ目は、総会議案に予定

していた「共済会員制度」です。いろいろ問題が出そうなので、時間をかけて検討することとし、今総会では提案しません。

コロナの位置付け変更

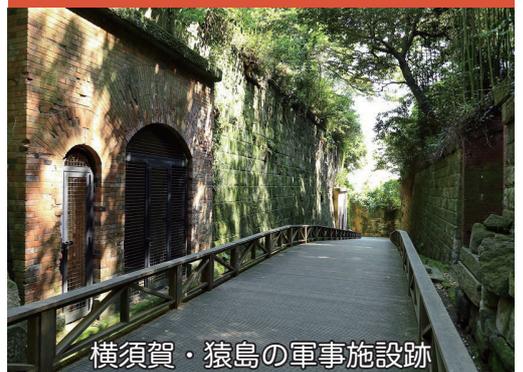
コロナの感染症状の位置付け変更に伴い、東京清掃は、機関会議や行動参加を、感染症対策に留意しつつ原則コロナ前に戻すことを決めました。これを受けて、退職者会も「会議、行事、行動の対応は、原則としてコロナ前に戻す」ことにしました。

行動旗新デザイン案

「行動の旗印《シニアユニオン》名」の行動旗新デザインの検討は、なかなかうまく進みません。拙速で変なものをつくらないように、時間をかけて検討することにしました。



秋の行事予定



横須賀・猿島の軍事施設跡

9月に学習交流会

『秋の学習会』の実施素案は次のとおりです。

▼テーマ……現下の政治情勢と闘いの課題

講師は平和フォーラム予定

▼開催時期：9月中旬か下旬

10月に日帰りツアー

今年の親睦旅行は、昨年『みさき満喫ツアー』に味をしめて、似た企画を検討中。

◆実施時期：10月中旬頃

◆旅行先……横須賀

◆実施内容……京急の『よこすか満喫きつぷ』を各自で買っていただき、現代のラピュタと人気の『猿島』をメインに何かを組み合わせて横

須賀で遊ぶ

◆参加費……『きつぷ』代を参加費に代える

という方式を考えています。

『よこすか満喫きつぷ』は、①京急の往復乗車券と京急バスフリー乗車券、②食べる券（横須賀の美食ゲット）、③遊ぶ券（各種施設の割引券など）がついていてお得です。

11月に秋のフィールドワーク

秋のフィールドワークは、

●実施案……ボランテアガイドの案内による谷中散策

●実施日……11月を予定

●実施概要……日暮里集合・解散、ランチ付の構想

新春の集いと演芸の会

新春の集い

□開催日：1月20日（土）

または27日（土）

□会場……新しい会場に変更すべく、探している最中

演芸を楽しむ会

□実施内容……「国立演芸場」が建替えのため、新会場検討中。候補は、新宿末広亭、上野鈴木演芸場、浅草演芸ホール、池袋演芸場。

清掃・人権交流会フィールドワーク 福田村事件が今に伝えるもの



野田市の福田公民館にて

が意図的に流布され関東各地に官民一体の自警団が組織される状況下で発生、9月6日、福田村（現野田市）で、香川県から薬の行商に來た被差別部落の一行15人が福田村と田中村（現柏市）の自警団に襲われ、幼児3人を含む男女9人と胎児が虐殺され利根川に遺棄された事件です。

自警団の中心人物8人は有罪になりますが、大正天皇死去に伴う「恩赦」で釈放、彼らには村民が集めた見舞金が払われています。一方、香川の生存者6人や遺族には裁判の経過も全く知らされず、一切の謝罪もされませんでした。

複合差別が事件発生背景

5月28日、清掃・人権交流会『福田村事件』フィールドワークが行われ、47名（うち、朝日等マスコミ3名、現地受け入れ側7名）が参加しました。清掃会館に集合した一行は、大型バスで現地へ向いました。

自警団がごとも含め虐殺

『福田村事件』は、ちょうど100年前、23年9月1日の関東大震災直後「朝鮮人等の暴動」

慰霊碑』が建立されました。「福田村事件追悼慰霊碑保存会」代表の市川正廣さんは、「朝鮮人に間違えられて殺された」と単純に言われることが多いが、そうではなく、朝鮮人等への民族差別、部落差別、よそ者差別、行商という職業差別が複雑に絡んだ複合差別だと強調されました。

事件現場とキッコマン見学

福田公民館での市川さんの熱いお話しは、お昼の弁当を食べながらの質疑応答へ続き、午後から、殺害現場の香取神社や遺体が遺棄された利根川河川敷、渡船場跡と圓福寺の追悼慰霊碑をめぐるフィールドワークを行ないました。

のどかな風景と凄惨な虐殺、差別意識と集団心理が普通の人間を悪魔に変える恐ろしさがあり、感じとれました。

この後、キッコマン醤油醸造所を見学。社内の人権の取り組みや、千葉県と



『追悼慰霊碑』前でお話する市川正廣さん



圓福寺追悼慰霊碑前フィールドワーク



福田村事件が伝えるものを共有

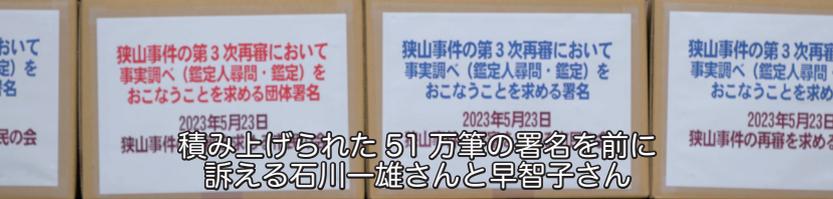
野田市での人権企業連絡会の活動を苦勞しながら進めていることが話されました。戦前最長のストが決行された『野田醤油争議』の現場でもあり、見学の後、お土産にももらった醤油はうれしかったのですが、ちよつと複雑な感じでした。

差別の根の深さを改めて実感でき、闘いの重要性も共有できました。参加者も多彩で、往復のバスの中は有意義な交流の場になりました。企画された方、現地で受入れてくださった方々に感謝です。

（箱田修一・押田五郎記）

狭山事件の再審を求める市民集会

無実を叫び60年！袴田再審に続け！東京高裁は事実調べ・再審開始を！



狭山事件の再審を求める市民集会 東京高裁は事実調べ・再審開始を！

60年前の5月23日、狭山事件で石川一雄さんが不当逮捕されました。人間でいえば還暦を迎える60年後のその日、『狭山事件の再審を求める市民集会』が強い雨の中、日比谷野外音楽堂で開かれました。

裁判所は早期決断を！

狭山事件第3次再審闘争は、昨年8月に弁護団が11人の鑑定人尋問と石川さん宅から発見された被害者のものとされる万年筆のインク鑑定を求めた『事実取調請求書』提出により、大詰めを迎えています。

具体的には、有罪の決め手とされた重要証拠の「脅迫状の筆跡・識字能力、指紋不存在、足跡、スコップ、血液型、目撃証言、犯人の音声、万年筆、自白、殺害方法、死体処理」に関わる11の鑑定や意見を提出した弁護側鑑定人を裁判所が直接尋問を行うよう求めたものです。これに対し検察は今年2月、「血液型」「殺害方法・死体処理」以外の弁護団提出新証拠に関する「証人尋問不要」とする意見書を提出、残る2件に関する意見も5月末までに示すとしています。

検察側意見に対する弁護団の反論を経て三者協議（裁判所、検察、弁護団）が行われ、裁判所がこれまでのように先送りしなければ、事実調べの採否が決定されます。

あらゆる差別反対をアピール

集会には『袴田事件』袴田巖さん姉の秀子さんや再審無罪を勝ち取った『足利事件』の菅家利和さん、『東住吉事件』青木恵子さんが駆付け、連帯のアピール。袴田秀子さんの「巖だけが助かればいいわけではない。今度こそ石川さんの再審開始を」という呼びかけは感動的でした。

主催者は、基調報告で「長い闘いになったが、狭山闘争は披差別者の闘いに勇気を与え続けてきた、労働組合にも影響を与え、社会的労働運動の取組みが進んだ」と闘いの意義を強調しました。集会後、霞ヶ関周辺をデモ行進し、「狭山事件の再審開始」「差別反対」等をアピールしました。

袴田事件



一日も早い再審開始を！

66年に旧清水市（現静岡市）で発生した一家4人殺人事件の犯人とされた元プロボクサー袴田巖さんの再審は、今年3月に事実上確定したというのに、未だ開始されません。「証拠捏造」を裁判所から言及され、抗う手段がないにも関わらず、検察は「有罪立証」の姿勢を崩そうとせず、「方針提示に3ヶ月かかる」と悪戯に引き伸ばしているからです。

再審制度の抜本改正を！

袴田巖さんの早期無実確定を阻んできたのは、日本の再審制度が被告人に極めて不利だからです。少なくとも、検察の証拠開示義務や検察の不服申立て禁止など国際基準に近づけることが必要です。冤罪を生まないためにも改正を。



汚染水海洋放出は放射能を拡げ、被災者の苦しみを拡散する!

福島第一原発事故放射能汚染水の海洋放出が強行されようとしています。

5月16日、朝から『汚染水を海に流すな!東京行動』が都内各地で行われ、メの集会が日比谷野音でもたれました。

福島の漁業者は汚染水の海洋放出を断じて認めない

小名浜漁協柳内孝之さんは「事故直後、放射能汚染水が海に流れ出た。保管用の構内タンクが満杯になると『低濃度』と称し海に投棄した。漁業者には何の説明もなかった。現在、試験操業を続けているが、汚染水が漏れるたびに海産物受け入れは拒否される。関係者の理解なしに汚染水処分はしないと言う。漁業者は理解などできない」と訴えました。

自らの手で放射能を拡散させることを断固拒否する

集会基調の印象的フレーズは「海洋放出は放射能を拡げ、被災者の苦しみを拡散する」でした。この12年、福島は放射能におびえる暮らしを強いられてきました。汚染水の海洋放出を認めたら、今度は自分たちの手で放射能を拡散してしまふことになるという危機感を象徴するものでした。



「還可能」とするものです。政府は、「送還を免れる手段として申請し続ける行為の防止」を立法理由としています。

異常な難民認定率

日本の難民認定率はわずか1%、世界各国では3割4割あたりまでであり、異常です。

政府は「難民該当者は少ない」と主張していますが、裁判で難民申請が認められた例や、国外退去後他国で認定されたケースも多く報告されています。また、特定の難民審査参与は年平均2千件もの審査を行っており、まともな審査が行われていないことが明らかにされています。

強制送還促進法反対!

入管法改定案は、5月9日、自民・公明・維新・国民等の賛成により衆議院で可決され、参議院の審議も大詰めを迎えています。改悪反対の声は日に日に高まり、国会前では連日坐込みが行われています。

国際基準をみだし共生社会を

審議案は、2年前、ウシユマさんの入管収容中死亡事件を契機に廃案になったものと同様、ほぼ同じ内容であり、国連人権理事会部会等から「国際的人権基準を満たしていない」と見直しが求められています。

特に問題なのは、「難民申請中は送還一律停止」規定を見直し「2回不認定なら強制送還可能」とするものです。政府は、「送還を免れる手段として申請し続ける行為の防止」を立法理由としています。

日本の難民認定率はわずか1%、世界各国では3割4割あたりまでであり、異常です。

政府は「難民該当者は少ない」と主張していますが、裁判で難民申請が認められた例や、国外退去後他国で認定されたケースも多く報告されています。また、特定の難民審査参与は年平均2千件もの審査を行っており、まともな審査が行われていないことが明らかにされています。

入国管理と難民認定の両方を入管が担っていること自体が問題です。裁判所や第三者機関の関与もなく国際基準を満たさない制度そのものを変えるべきです。強制送還促進法を廃案に! 国際的人権基準を日本に! 共生社会を!

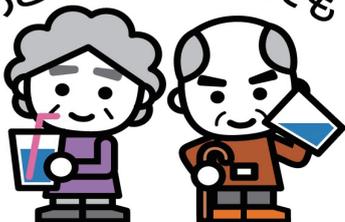
熱中症に注意!



帽子や日傘で
日ざしをさえぎろう



のどがかわいてなくても



水分補給を!

塩分を摂ろう

汗をかいたら



エアコン、
扇風機を
使おう



寝る前にも
水分補給を!



『防衛財源確保法案』『GX電源法案』『入管法改定案』等が参院で審議される状況下、5月の総がかり19日行動が国会議員会館前で開かれました。
軍拡・改憲策動阻止!
強い雨が降る中、行動の冒

頭、『改憲反対』と『大軍拡・大増税反対』の署名が国会議員に託され、主催者は「悪法の数々を強行する岸田は断じて許せない。軍拡法案が審議され、日本は『戦争をする国』に突き進むようとしている。軍拡、改憲策動を阻止しよう。

市民からの報告では、『平和を求め軍拡を許さない女たちの会』の日本女医会前田佳子会長は「今、歴史の転換点。軍事大国にさせないため、黙っていられない」と、『辺野古新基地を造らせないオール沖縄会議』の福元勇司事務局長は「地域や市民を分断する国策を市民の連帯で止めよう」と電話で発言、『移住連』山岸素子さんは、「入管法改悪案はいのちを奪う法案であり、国際人権法違反だ。廃案にするしかない」と訴えました。悪法を濫造する岸田政権との闘いは重大局面を迎えています。

軍拡・増税、改憲反対! 悪法濫造を許すな!



解散・総選挙もあり得る。市民と野党の共闘で勝ち抜こう」と決意を示しました。
悪法濫造を許さない!
市民からの報告では、『平和を求め軍拡を許さない女たちの会』の日本女医会前田佳子会長は「今、歴史の転換点。軍事大国にさせないため、黙っていられない」と、『辺野古新基地を造らせないオール沖縄会議』の福元勇司事務局長は「地域や市民を分断する国策を市民の連帯で止めよう」と電話で発言、『移住連』山岸素子さんは、「入管法改悪案はいのちを奪う法案であり、国際人権法違反だ。廃案にするしかない」と訴えました。悪法を濫造する岸田政権との闘いは重大局面を迎えています。

6・29 都庁退学学習会 「ジェンダー平等」

退職者会の上部団体もコロナで3年近く休止していた活動を再開しています。東京都庁職員退職者連合会（都庁退）は、会員が参加できる学習会を次により開催します。

- ▼日時 6月29日（木） 13時30分～
- ▼場所 田町交通ビル（東交） 5階大会議室
- ▼テーマ ジェンダー平等の理解を深めるために

講師 眞島明美さん
（連合東京副事務局長）

参加を希望する方は、退職者会戸枝事務局長へ事前に連絡ください。参加者には交通費実費相当を支給します。